

とき

vol.11

旬の人

ゴミゼロ標語で

優秀賞

ちさと
花屋 千里さん
(志佐・辻ノ尾)

「使い捨て やめてはじまる 使い切り」



花屋千里さんが応募した「ゴミゼロながさき」の統一標語の作品が、一般の部で優秀賞に輝きました。ゴミのない資源循環型の長崎県「ゴミゼロながさき」を目指して、県が6月に募集を行ったもので、約2,700点の作品の中から一般の部で2位にあたる優秀賞に決まったものです。

花屋さんは「標語を考えることで、ゴミをなくすにはどうすればいいかなどの環境問題について、改めて考えるきっかけになりました。周囲の方たちと情報交換などをしながら、今後も環境問題に気をつけていければと思っています」と話していました。

地元代表として健闘

—県中学軟式野球新人大会—

福島中学校野球部



長崎県中学校軟式野球球技大会が11月18日、19日の2日間、松浦市で開催され、福島中学校野球部が2年連続で出場しました。

同野球部は2年生16人、1年生8人のチームで、林光宏監督以下2人のコーチの指導のもと、練習に励んでいます。

キャプテンの末吉拓哉君(2年生)は「練習や試合では互いに声を出し合い、だらけないようにしています。監督やコーチは厳しいけど、よくわかるように指導してくれます。大会では地元の代表として、一試合一試合を大事に戦いたいと思います」と話してくれました。

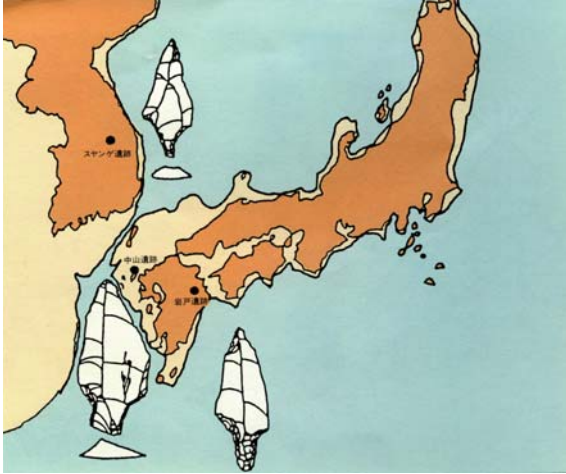
大会では、壱岐市代表の武生水中学校に勝ち2回戦へ進出。佐世保市代表の相浦中学校に破れましたが0対1と健闘しました。

人類の出現(3)

今から約2万年前になると、現在より平均気温が約6度低くなっていたため、カナダやヨーロッパでは氷河が発達し、海面は100メートル以上も低い位置にありました。人々の生活も変化し、新しい道具が生まれ、地域的特色がでてきました。

槍の先に装着して使うナイフ形石器や台形石器は、引き続き使われますが、新しく槍の先に使用する剥片尖頭器や角錐状石器という道具も生まれました。剥片尖頭器や角錐状石器は、大韓民国のスヤング遺跡などでも出土しており、アジア大陸にその起源があることがわかってきました。剥片尖頭器は九州と山口県で出土していますが、角錐状石器は日本列島のほぼ全域で出土しています。当時は九州と大陸の間が狭くなっていたため朝鮮半島の交流が盛んに行われていたと考えられています。

松浦市内では、松浦火力発電所建設に伴う楼厓田遺跡の発掘調査などでこれらの石器が出土しています。



▲約2万年前の海岸線と剥片尖頭器
伊万里・北松地域広域市町村圏組合発行の「海と交流わたしたちのふるさと」より



ブリティーナ先生
(アメリカ出身)

Differences between American and Japanese Schools

アメリカと日本の学校の違い

日本とアメリカの学校には、多くの違いがあります。

最初に、日本の生徒たちは毎日昼食後に歯を磨き、学校の掃除をします。アメリカの生徒たちは昼食後歯を磨くことはなく、学校の掃除もしません。

次に異なる点は、日本では毎日教室で給食を食べますが、アメリカの生徒たちは自分の好きな昼食を持ってきていいし、広い食堂でみんなで一緒に食べるということです。

他にも、日本では42日間の夏休みがありますが、たいいてい宿題が出されます。アメリカでは、6月から8月までの3か月の夏休みがありますが、宿題はありません。

私はもちろん宿題がない3か月の夏休みが好きです。生徒たちは学年の終了を明確にできるし、夏のアルバイトをしたり、家事を手伝ったりできます。また、先生たちも夏休みをとる必要があります。

日本の学校で私が好きなのは、教師たちが生徒のためにすばらしい手本を示していることです。日本では、教師が生徒たちとともに全ての活動を行います。このことは、生徒と教師の間に共同体であるという感情を抱かせます。アメリカでは、教師は特別扱いされています。時にはこのことが生徒を遠ざけることになるかもしれませんが、個性と権威を生み出します。

